

経営比較分析表

兵庫県 加西市

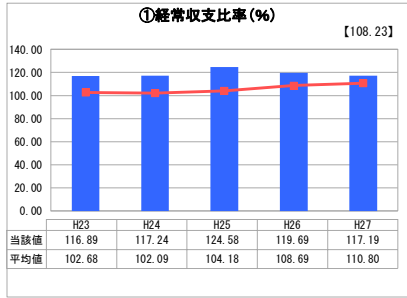
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.75	24.31	86.95	3,650

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,345	150.98	300.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,980	4.99	2,200.40

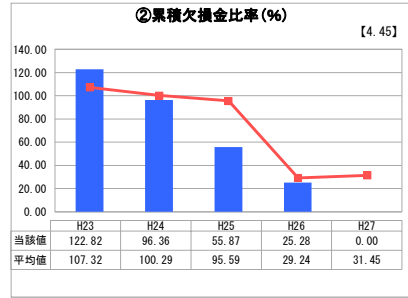
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成27年度全国平均

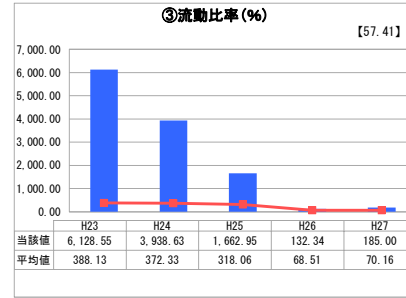
1. 経営の健全性・効率性



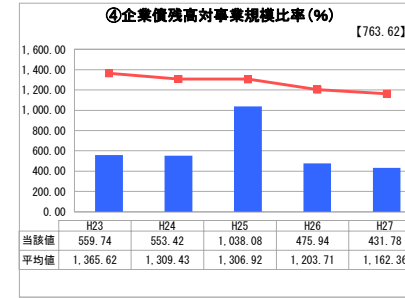
「経常損益」



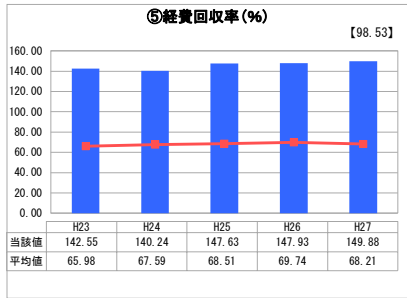
「累積欠損」



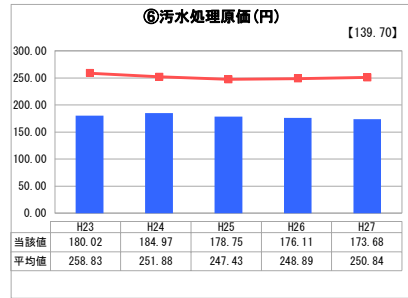
「支払能力」



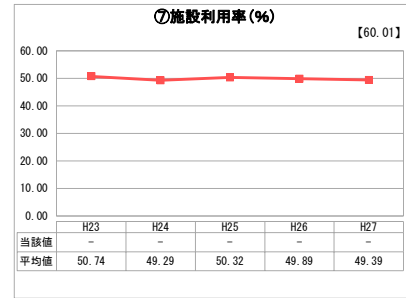
「債務残高」



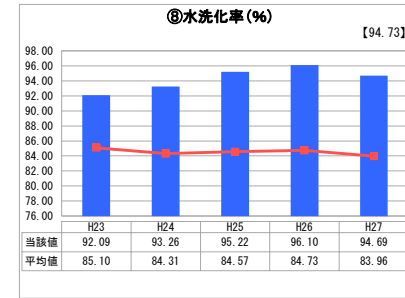
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

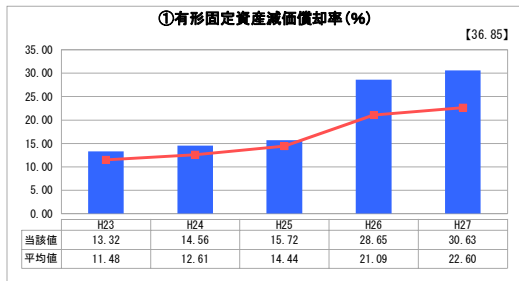


「施設の効率性」

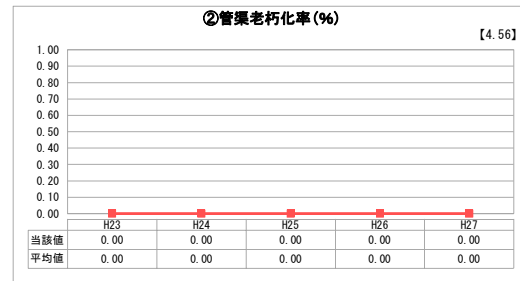


「使用料対象の捕捉」

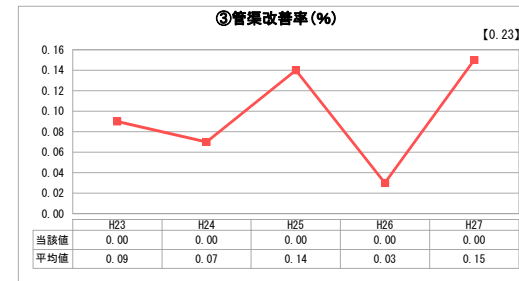
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、100%を上回っており数値は良いですが、多額の一般会計繰入金を繰入していることも大きな要因となっています。
- ②累積欠損比率については、近年黒字が続いているため改善しています。
- ③流動比率については地方公営企業会計制度改正の影響により平成26年度に大きく下がりましたが、引き続き類似団体平均を大きく上回っています。
- ④企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均を大きく下回っており、公共下水道においては、適正な数値となっています。
- ⑤経費回収率は、100%を超えており使用料で経費を賄えているといえます。
- ⑥汚水処理原価は類似団体平均に比べて低くなっており、比較的経営の効率は良いといえます。ただし、短期間に下水道整備をしたことにより比較的施設が新しく減価償却費を高いため、汚水資本費については高くなっています。
- ⑦施設利用率については本市には公共下水道の処理施設がないため比較できません。
- ⑧水洗化率については、類似団体よりは高くなっているものの、引き続き水洗化の促進に努め、接続率の向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、類似団体と比べると数値が若干高く、平成27年度末で30.63%となっており、全体の耐用年数は7割程度残っていることとなります。
- ②管渠老朽化率は法定耐用年数を超えた管渠はなく、管渠については比較的新しくなっています。

全体総括

当市の公共下水道事業については、ほとんどの指標において数値も良く、類似団体と比較しても良い状況であり、健全経営となっています。しかし、市の下水道事業全体として、農業集落排水事業、コミュニティ・プラント事業の事業効率が悪いため赤字経営となっており、非常に厳しい経営状況です。今後も引き続き経費の節減と水洗化の促進に取り組みます。また、今後は経営戦略等を策定し、効率的な下水道経営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

兵庫県 加西市

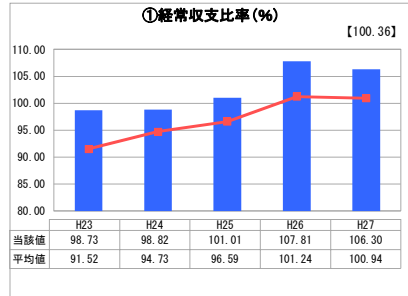
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)
-	31.96	34.17	86.89	3,650

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,345	150.98	300.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,434	12.41	1,243.67

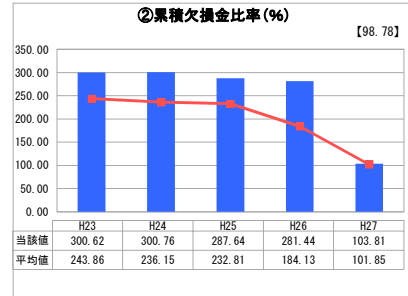
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成27年度全国平均

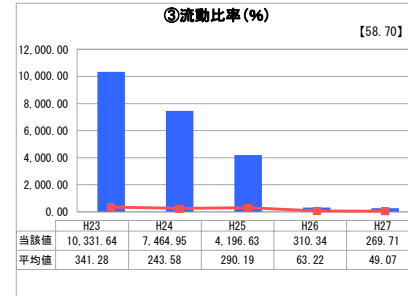
1. 経営の健全性・効率性



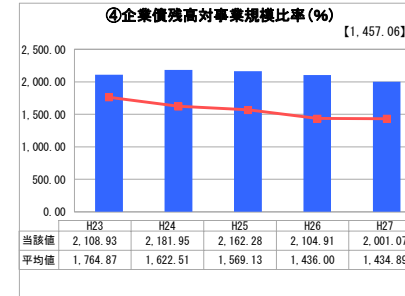
「経常損益」



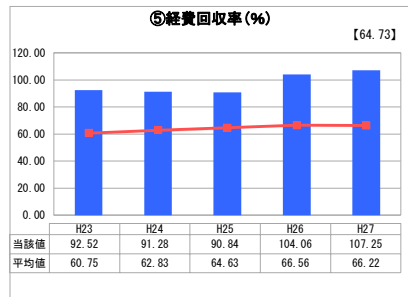
「累積欠損」



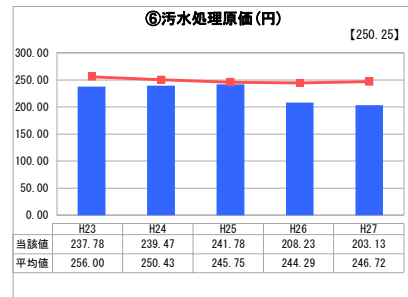
「支払能力」



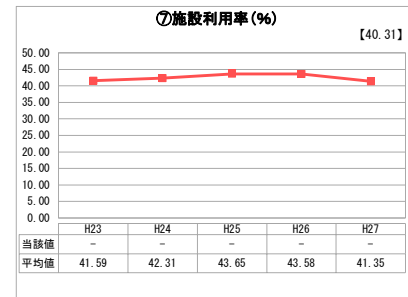
「債務残高」



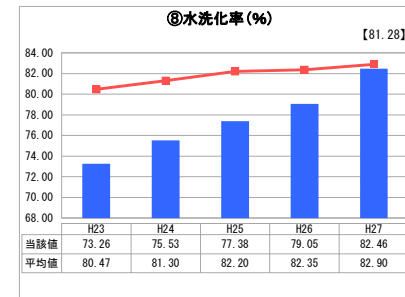
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

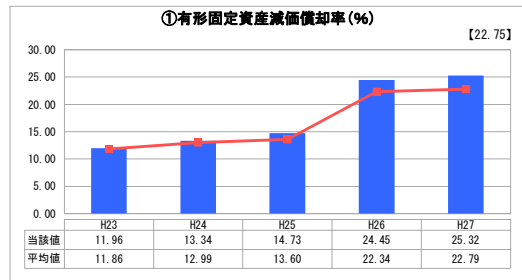


「施設の効率性」

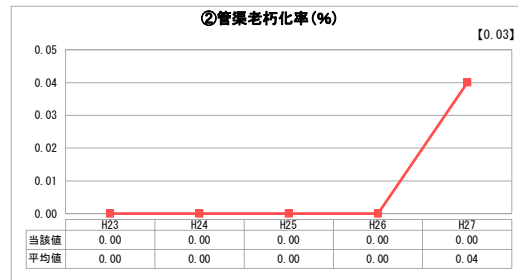


「使用料対象の捕捉」

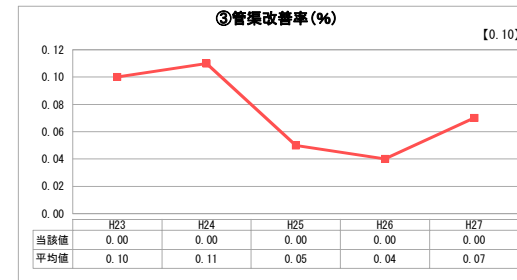
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、100%を上回っていますが、多額の一般会計繰入金を繰入していることも大きな要因となっています。
- ②累積欠損比率は、近年黒字が続いているため改善しています。
- ③流動比率は、地方公営企業会計制度改正の影響により平成26年度に大きく下がりましたが、引き続き類似団体平均を大きく上回っています。
- ④企業債残高対事業規模比率は、改善傾向にありますが、類似団体と比較すると依然高い状況が続いています。
- ⑤経費回収率は、100%を超えており使用料で経費を賄えているといえます。
- ⑥汚水処理原価は類似団体平均に比べて低くなっており、比較的経営の効率は良いといえます。ただし、短期間に下水道整備をしたことにより比較的施設が新しく減価償却費が高いため、汚水資本費については高くなっています。
- ⑦施設利用率については本市には公共下水道の処理施設がないため比較できません。
- ⑧水洗化率については、年々高くなっているものの類似団体と比較すると若干低くなっており、引き続き水洗化の促進に取り組んでいきます。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、類似団体と比べると数値が若干高く、平成27年度末で25.32%となっており、全体の耐用年数は7割程度残っていることとなります。
- ②管渠老朽化率は法定耐用年数を超えた管渠は少なく、管渠については比較的新しくなっています。

全体総括

特定環境保全公共下水道事業については、市街化調整区域の下水道で、この地区は家屋が点在しており、整備効率が悪くなっています。公共下水道事業に比べると全体的に数値は悪くなっていますが、類似団体の数値と比較すると、ほぼ同様の指標となっています。今後も引き続き経費の節減と水洗化の促進に取り組みます。また、今後は経営戦略等を策定し、効率的な下水道経営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の実績を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

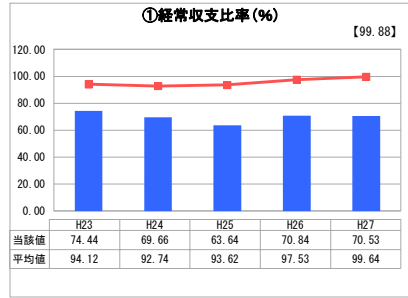
兵庫県 加西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	19.13	20.67	93.07	3,650

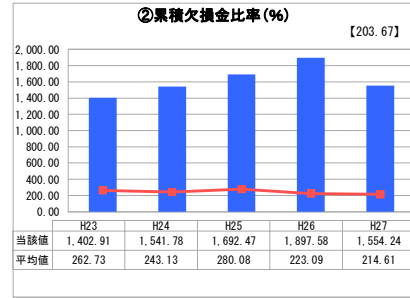
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,345	150.98	300.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,337	3.48	2,683.05

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	平成27年度全国平均

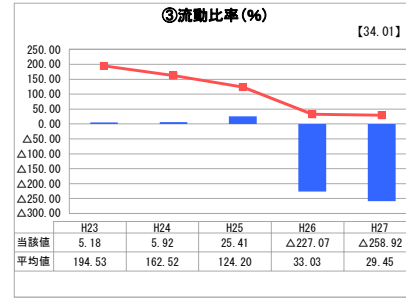
1. 経営の健全性・効率性



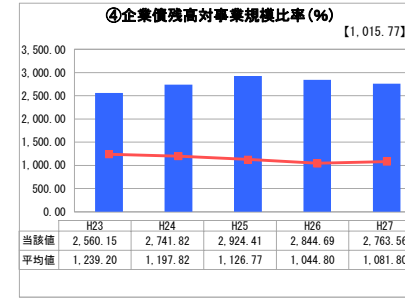
「経常損益」



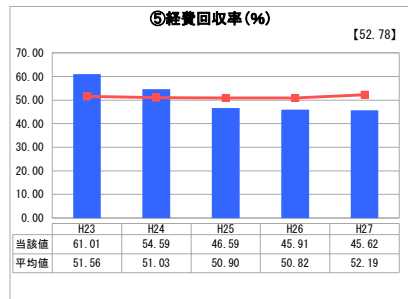
「累積欠損」



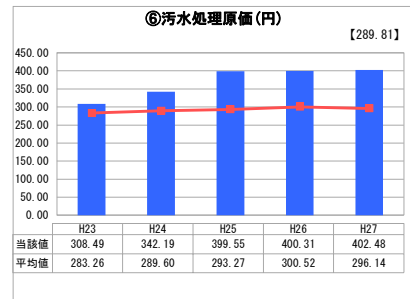
「支払能力」



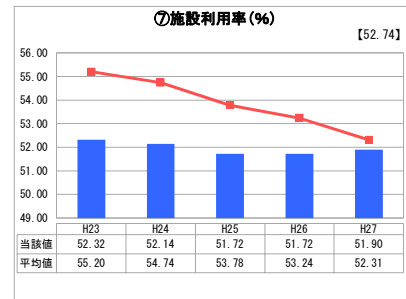
「債務残高」



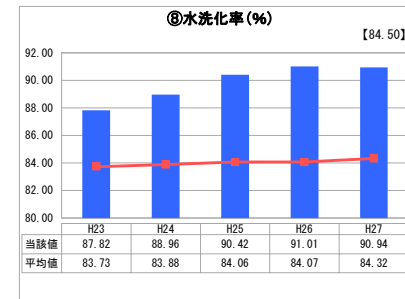
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

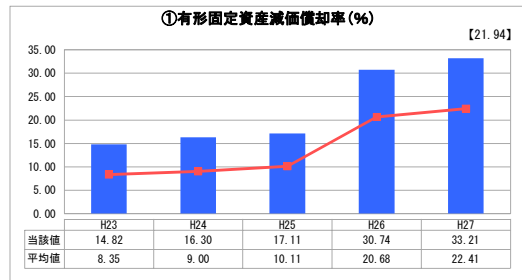


「施設の効率性」

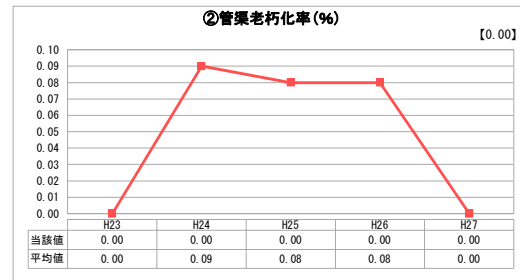


「使用料対象の捕捉」

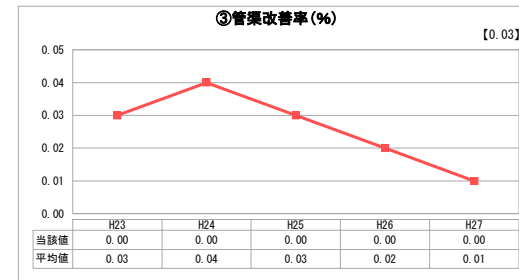
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は100%を大きく下回っており70%前後で推移しています。処理施設数が多く維持管理費用がかさんでいるためです。
- ②累積欠損金比率は前年度に比べ改善していますが、引き続き類似団体平均を大きく上回っています。
- ③流動比率は平成26年度の公営企業会計制度の改正により大きく下がっており、その後も悪化しています。しかし、公共下水道等を含めた下水道事業全体では、支払能力に問題はありません。
- ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体や全国平均に比べると悪くなっています。これは処理施設数が多く管渠の延長も長いこと、事業費がかさみ多額の企業債を借入したためです。
- ⑤経費回収率は類似団体をやや下回っており、46%程度しか回収できていません。また、⑥汚水処理原価も類似団体に比べ高くなっています。これも処理施設数が多く維持管理費がかさんでいるためです。
- ⑦施設利用率は約51%程度で推移していますが、処理場の処理能力に少し余裕があること、小規模の施設が多いためです。
- ⑧水洗化率は90%を超えており、類似団体や全国平均と比較しても高くなっています。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、平成27年度末で33.21%類似団体と比べると少し数値が高くなっています。これは、加西市が比較的早い時期から農業集落排水事業に取り組んできたからです。
- ②管渠老朽化率は法定耐用年数を超えた管渠はありません。

全体総括

農業集落排水事業は農村部の下水道で、この区域では家屋が点在しており整備効率が悪くなっています。19か所の処理施設を有しているため、整備にも維持管理にも多額の費用がかかっており、各種指標数値は悪くなっています。今後は、経営戦略等を策定し、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、又コミュニティ・プラント事業を含めた4つ事業全体で加西市の下水道事業として、処理施設の統廃合もふまえた効率的な運営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の実績数を基に類似団体平均値を算出しています。